

様式第3号

研修報告書（研修費）

令和 4 年 11 月 14 日

長久手市議会議長
川合 保生 様

長久手市議会議員 川合 保生 ㊞

政務活動費を充てることのできる経費の範囲の運用指針により次のとおり届け出ます。

年 月 日	令和 4 年 10 月 12 日 (水) から 令和 4 年 10 月 14 日 (金) までの 3 日間
研 修 先	第 8 4 回全国都市問題会議 (長崎市) (行程表は別表のとおり)
成 果	別 紙
経 費	金 77,880 円 (政務活動費対象経費) 金 77,880 円 (全体経費) (明細は別添のとおり)
提 出 資 料	○研修先資料 ○領収書の写し

※研修を実施した後は議長に1カ月以内に提出するものとする。ただし、1カ月以内が翌年度の4月20日を経過する場合は20日までとする。

行程表

第84回 全国都市問題会議

●令和4年10月12日（水）

10:00 発 11:10 発 16:27 着 15:00 着

藤が丘駅→名古屋駅→博多駅→長崎駅→長崎駅前→諏訪神社駅→ステーションホテル長崎諏訪
地下鉄 新幹線 長崎電気軌道

●令和4年10月13日（木）

8:00 発 8:45 着

ステーションホテル長崎諏訪→諏訪神社駅→長崎駅前→出島メッセ長崎（会場）
長崎電気軌道

17:00 発 17:45 着

出島メッセ長崎→長崎駅前→諏訪神社駅→ステーションホテル長崎諏訪
長崎電気軌道

●令和4年10月14日（金）

8:00 発 8:45 着 13:45 発

ステーションホテル長崎諏訪→諏訪神社駅→長崎駅前→出島メッセ長崎→長崎駅→博多駅→
長崎電気軌道 新幹線

18:47 着 19:50 着

名古屋駅→藤が丘駅
地下鉄

費用明細

藤が丘駅 ⇄ 名古屋駅	310 円 x 2 = 620 円	地下鉄
名古屋駅 ⇄ 長崎駅	21,150 円 x 2 = 42,300 円	JR
長崎駅前 ⇄ 諏訪神社駅	140 円 x 4 = 560 円	長崎電気軌道
参加費	10,000 円	
宿泊費	12,200 円 x 2 = 24,400 円	ステーションホテル長崎諏訪
計	77,880 円	

令和 4年11月14日

川合保生

第84回全国都市問題会議研修報告

会議日程について

1日目 令和4年10月13日(木)

9:30 開会式

9:50 基調講演 民間主導の地域創生の重要性

株式会社ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO 高田 旭 人 氏

11:00 主報告 長崎市の魅力あるまちづくり

長崎県長崎市長 田 上 富 久 氏

12:10 昼食

13:30 一般報告

地域との新しい関わり方・関係人口

島根県立大学地域政策学部准教授 田 中 輝 美 氏

14:30 休憩

14:50 一般報告

ビジョンを活かしたまちづくり～「選ばれる山形市」を目指して～

山形県山形市長 佐 藤 孝 弘 氏

15:50 一般報告

「交流の産業化」を支える景観まちづくり～長崎市景観専門監の取り組み～

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事 高 尾 忠 志 氏

17:00 終了

基調講演の高田旭人氏は通販のジャパネットの代表取締役社長兼 CEO であるが父親はジャパネット創業者の高田明氏であり私は聞けるなら彼の講演が聞きたかった。どのようにして長崎から大きな通販会社を立ち上げることができたのか、事細かに聞いてみたかった。しかしテーマが民間主導の地域創生というものであるので、現在の長崎市がどのようにジャパネットを取り込んでいったのか、またそれが市にとってどれだけのインパクトを持つのか、ジャパネットにとって新たな事業を立ち上げることが企業にとっての将来性をしっかりと担保できるのか目

が離せないと思った次第である。この先のわが市にとっても何か考えていかなければならないのは当然である。

主報告において長崎市長田上富久氏の話は長崎市の魅力について歴史、価値、そして今後について語られた。

田中輝美氏は鳥取市の例を挙げ若い世代と関係人口という話をされた。地域を活性化させるための方策としての講話であった。人口減少地域においては必要な事である。

佐藤孝弘氏の話は選ばれるまちとなるための方法論として歩くことによる健康暮らしやすさ、そのための公共交通・徒歩・自転車・コミュニティ交通を組み合わせることで自家用車に頼らない、文化芸術にも力を入れたまちづくりを目指すとの話であった。

高尾忠志氏の話は長崎市のまちづくり戦略において景観専門監という職を設置して、まちの価値を事業の中で見いだしていくというものであるとのことであった。色々な事例を紹介してくれて非常にわかりやすかった。

2日目 10月14日(金) 9:30

パネルディスカッション

【テーマ】

個性を活かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

【コーディネーター】

東京都立大学法学部教授

大杉 覚 氏

【パネリスト】

ゆとり研究所所長

野口 智子 氏

山梨大学生命環境学部教授

田中 敦 氏

NPO 法人長崎コンブラドール理事長

桐野 耕一 氏

岐阜県飛騨市長

都竹 淳也 氏

兵庫県伊丹市長

藤原 保幸 氏

パネルディスカッションにおいては選ばれるまちづくり即ち観光で有名な場所以外で人を呼ぶにはどうしたらいいかの議論であると感じた。我まちに即して考えるとやはり観光というものが長久手市にとって必要なのか、またそのための多大な投資をしてまでの事は必要ないと議論を聞いて思った次第である。来年、大河

ドラマで小牧長久手の戦いがどれほどのシーンになるのかによってどれだけの人が訪れてくれるのかが決まると考えると甚だ心許ないと思うのは私だけではないと改めて感じた次第である。

閉会式 11時50分

次期開催市市長挨拶

青森県八戸市長 熊谷雄一氏

閉会挨拶

公益財団法人後藤・安田記念東京都市研究所理事長
小早川光郎氏